

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

事業所名 コロニー児童デイサービスやまうち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	6	2			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1			普段の支援時より職員間で児童の情報を共有しながら会議を通してその時の児童に合った支援を設定できるよう取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			会議等で保護者からの意向を確認し共有する様に取り組んでいる。	アンケートの結果を踏まえ保護者の意向等を意識し職員で共通認識として業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			8		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	4		会議等で研修の報告を行う様になっている。	職員全体で参加できる研修を取り入れたり企画できるようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			月案会議等で職員全員で活動内容を決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2		同法人事業所の活動から生かせるような活動を事業所でも行ったりしている。	今後も活動が固定されないように周りにも目を向け児童に合わせた様々な活動を取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1			休日や長期休暇には普段できない外出支援等を取り入れ児童達の経験に繋げて行ける様取り組んでいく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				事業所だけでなく、他関係機関とも連携を取りながら児童に合わせた計画を作成する様取り組んでいく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		出勤時に送迎を確認しながらその日の活動や流れを確認する様になっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	1		振り返りは行っているが、毎回できているわけではないので、必要な情報はしっかり職員全体で共有出来る様徹底していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	3			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1			会議等で児童の状況を職員で情報共有しながら支援に繋げていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			送迎時から学校とのコミュニケーションをしっかりと情報共有を心掛けている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			8		今後、医療的ケアを事業所で取り入れていく際は関係機関との連絡体制を意識的に整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1			今後は、専門機関との連携を意識して取り組み研修等にも積極的に参加する様努めていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5			少しずつ地域の活動に参加できるようになってきたので、今後はもっと積極的に参加していくようにしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	1		協議会等の開催情報を確認し参加していくよう取り組んでいく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1			今後も会議だけではなく、日頃から自宅の様子、デイでの様子を共有し、本人たちの頑張りを感じ今後の課題につなげられるような話し合いをしたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5			研修等に参加し知識を高め保護者に対してもしっかり支援やアドバイスを行えるよう取り組んでいく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			普段の送迎時にコミュニケーションをしっかりとるよう心掛けている。	今後も保護者が相談しやすい様に普段からのコミュニケーションをしっかりとるよう意識して取り組んでいく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3			ゆんたく会や保護者参加できる行事を取り入れ保護者同士の交流の場を設けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			保護者からの苦情や要望があった際は職員間で共有し適切な対応を取れる様心掛けている。	今後も苦情があった際は職員間で共有し適切な対応を心がけていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2			月間予定表や連絡帳だけでなく月便り等も発行する様努めていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	8			定期的に会議の中で個人情報に留意する様確認している。	今後も情報の取り扱いには注意出来る様定期的に確認していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	1		送迎時等を利用し、普段からのコミュニケーションをしっかりとるよう意識して取り組んでいく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3	1		地域の方が参加できる様な行事を職員で考え開催できるよう取り組んでいく。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4	1		ゆんたく会や家族会を開催しマニュアルをしっかりと周知出来る様努めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	5	1		今後は長期休暇等に事業所全員で様々な災害時の避難訓練も取り入れていけるようにする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1			研修等に積極的に参加し会議等で職員間で情報を共有するよう図っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			8		現在身体拘束が必要な児童はいないが、今後必要が出た際は職員間で情報を共有し、保護者と連携を取りながら取り組んでいく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1		おやつを提供する際アレルギーを意識しながらメニューを決定している。	アレルギー表を作成し随時確認できる様にしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	1	ヒヤリハットがあった際はその都度職員間で共有している。	情報の共有は行っているが、事例集の作成まで至っていないのでしっかりと作成するよう努める。